

## 平成27年度第1回T-SPOD会議 議事概要

日 時： 平成27年10月29日（水）15：00～16：25  
場 所： 授業研究インテリジェントラボ（徳島大学大学開放実践センター3階）  
出席者： 鳴門教育大学 新居学部教務係長，坂本労務係長  
四国大学・短期大学部 平野総務課員，大恵総務課員，  
久我学部運営支援課係長，高木学部運営支援課員  
徳島文理大学・短期大学部 新見准教授  
徳島工業短期大学 近藤理事長  
阿南工業高等専門学校 松本教授，湯浅総務課長補佐  
徳島大学 赤池教授（議長），川野教授，宮田准教授，吉田講師，  
川瀬助教，久保田特任助教，上岡特任研究員，  
沖津人事課課長補佐，小山教育企画室長，  
金治教育企画係長，吉岡教育企画係員

会議開催に先立ち，出席者の自己紹介が行われた。

### 議 題

#### 1. FD・SD活動の取組等について

議長から，議題1資料に基づき，昨年に引き続き，徳島県内加盟校の独自の活動について情報共有及び情報交換を行いたい旨の説明があり，事前に提出した「平成27年度のFD・SD活動の取組等」により各校が説明し，種々意見交換を行った。

#### 【内容】

- ①ティーチング・ポートフォリオを普及させる工夫として，まずは参加しやすい方に声をかける。ティーチング・ポートフォリオは必修とし，教育ポイントに加算され，給与等に反映するシステムを構築する。また，昇任及び昇格するにあたりティーチング・ポートフォリオの作成を義務付けることなどを行う。
- ②学生に模擬授業を行わせることにより，自分の成果が分かる。
- ③フリーソフトアプリ「レスポソ」をうまく使うことが出来れば授業改善アンケートにも使用出来る可能性がある。
- ④SPODの研修は愛媛大学で行われることが多いので，少ない予算の中では参加しにくい。
- ⑤学習障害学生に対する対応に関するシンポジウム又は研修プログラムを増やしてほしい。  
FD・SD合同で行うことにより成果がでるのではないか。
- ⑥ICT活用教育に関連する実践事例を知りたい。
- ⑦県単位で充実したプログラムを実践できないか。インプット・アウトプットが出来る共通の場を増やして行き，FD担当者を養成できないだろうか。
- ⑧SDは体系化されているのでSPODで維持して行く方向である。

## 報 告

### 1. 大学教育カンファレンス in 徳島について

議長から、報告1資料に基づき、平成28年1月6日（水）に徳島大学において、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための「大学教育カンファレンス in 徳島」をSPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の研修プログラムの一環として開催することの説明があり、この中で「大学教育再生加速プログラムシンポジウム」を開催し、T-SPODからは「ラウンドテーブル」を兼ねて阿南工業高等専門学校の坪井先生から話題提供をいただくとともに、話題提供者間、及びフロアーを交えてディスカッションを行う予定としている旨の報告があった。

### 2. ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップについて

議長から、報告2資料に基づき、自身の授業を見直し、授業改善を行いたいと考えている教員に対し、平成28年3月9日（水）～11日（金）の3日間（定員8名）で開催する予定であるので是非参加してもらいたい旨の報告があった。

以上